

【コネクタ信号表】

J1 I/O (34P) 未実装

マイコン端子		マイコン別信号名				マイコン端子	
R8C/LA3A 系		J1		R8C/LA3A 系			
	GND	1	2	GND			
18	P5_0/COM3/SEG24/*KI4	3	4	P5_1/COM2/SEG25/*KI5	17		
16	P5_2/COM1/SEG26/*KI6	5	6	P5_3/COM0/*KI7	15		
14	P5_4/ML1	7	8	P5_5/ML2	13		
12	P5_6/ML3	9	10	P8_0/IVCMP1/*SCS/*INT1	11		
10	P8_1/SSI/*INT3	11	12	P8_2/TRJ1IO/SSCK/SCL	9		
8	P8_3/TRJ0IO/SSO/SDA	13	14	P9_0/XIN(/XCIN)	6★		
4★	P9_1/XOUT(/XCOUT)	15	16	NC			
	NC	17	18	NC			
	NC	19	20	NC			
	NC	21	22	NC			
	NC	23	24	NC			
	NC	25	26	NC			
	NC	27	28	NC			
	NC	29	30	NC			
	VCC	31	32	VCC			
	GND	33	34	GND			

J5 RS232C インタフェース (3P)

マイコン端子		J5	R8C/LA3A 系	マイコン端子
		1	P8_5/TRCIOC(/TRCIOB)/TXD0/AN1	30★
		2	GND	
		3	P8_6(/TRCIOB)/RXD0/AN2	29★



注意

一部を除き入力信号の振幅がVCCとGNDを超えないようご注意ください。

アナログ信号の振幅がAVCCとGNDを超えないようご注意ください。

規定以上の振幅の信号が入力された場合、永久破損の原因となります。

J2 I/O (34P) 未実装

マイコン端子		マイコン別信号名				マイコン端子	
R8C/LA3A 系		J2		R8C/LA3A 系			
	GND	1	2	GND			
19	P2_7/SEG15/COMEXP/*KI3	3	4	P2_6/SEG14(/INT3)*KI2	12		
21	P2_5/SEG13(/INT2)*KI1	5	6	P2_4/SEG12(/INT1)*KI0			
23	P2_3/SEG11/*INT5	7	8	P2_2/SEG10/*INT0	16		
25	P2_1/SEG9/TRB00	9	10	P2_0/SEG8/TRB10	14		
27	P7_1/TRCCLK/*INT2/AN5	11	12	P8_7(/TRCTRG)/TRCIOA/IVREF1/AN3	18		
29	P8_6(/TRCIOB)/RXD0/AN2	13	14	P8_5/TRCIOC(/TRCIOB)/TXD0/AN1	20		
31	P8_4/TRCIOD(/TRCIOB)/CLK0/AN0	15	16	NC			
	NC	17	18	NC			
	NC	19	20	NC			
	NC	21	22	NC			
	NC	23	24	NC			
32	*WKUP0	25	26	VREF			
2	MODE	27	28	*RESET			
	NC	29	30	NC	8		
	VCC	31	32	VCC			
	GND	33	34	GND			

J7 内蔵ROM書換えインタフェース (20P)

マイコン端子		マイコン別信号名			
R8C/LA3A 系		J7		R8C/LA3A 系	
3	*RESET	1	2	GND	
	NC	3	4	GND	
	NC	5	6	GND	
	NC	7	8	GND	
	NC	9	10	GND	
	NC	11	12	GND	
2	MODE	13	14	GND	
30★	P8_5/TRCIOC(/TRCIOB)/TXD0/AN1	15	16	GND	
29★	P8_6(/TRCIOB)/RXD0/AN2	17	18	Vcc	
	NC	19	20	Vcc	

J8 デバッグインタフェース (14P)

マイコン端子		マイコン別信号名			
R8C/LA3A 系		J8		R8C/LA3A 系	
	NC	1	2	GND	
	NC	3	4	GND	
30★	P8_5/TRCIOC(/TRCIOB)/TXD0/AN1	5	6	GND	
2	MODE	7	8	Vcc	
	NC	9	10	GND	
29★	P8_6(/TRCIOB)/RXD0/AN2	11	12	GND	
3	*RESET	13	14	GND	

※デバッグ時はSW1を“PROG<-”の反対側へスライドして下さい

<備考>

※ ★はジャンパの設定によって変わります。

※ *は負論理です。NCは未接続です。

※J8 デバッグ I/F のコネクタピン番号とルネサス エレクトロニクス株式会社のコネクタとピン番号の数が異なりますので、ご注意ください。

※マイコン側仕様は、必ずルネサス エレクトロニクス株式会社当該マイコンハードウェアマニュアルをご確認ください。

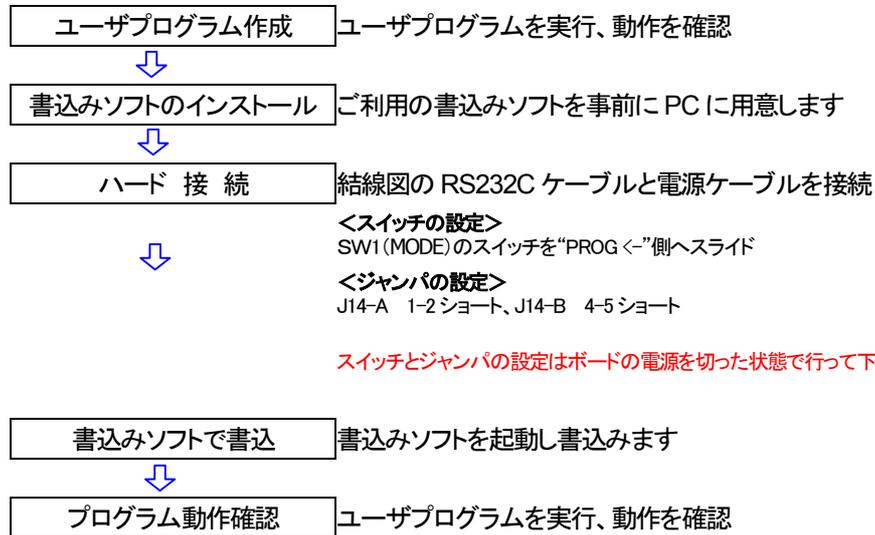
実装及び付属コネクタ

コネクタ	極数
J1・J2 I/O (付属)	34
H310-034P (Conser)他 MIL 規格ボックス	
J5 RS232C インタフェース	3
IL-G-3P-S3T2-SA(JAE) 適合 IL-G-3S-S3C2-SA	
J6 DC 電源入力(3.3V~5V)	2
IL-G-2P-S3T2-SA(JAE) 適合 IL-G-2S-S3C2-SA	
J7 内蔵ROM 書換えインタフェース	20
H310-020P (Conser)または XG4C-2031(オムロン)他 MIL 規格ボックス	
J8 デバッグインタフェース	14
H310-014P (Conser)または XG4C-1431(オムロン)他 MIL 規格ボックス	

※ J1・J2・J7・J8 は Conser 製もしくは互換品(MIL 規格準拠 2.45 ピッチボックスプラグ 切欠 中央1箇所)を使用。

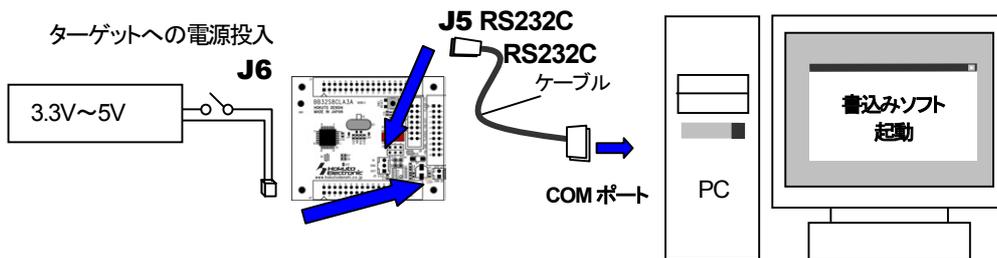
書き込みソフトの利用方法

用意したユーザプログラムをマイコンボードへ書き込む方法は次の通りです。



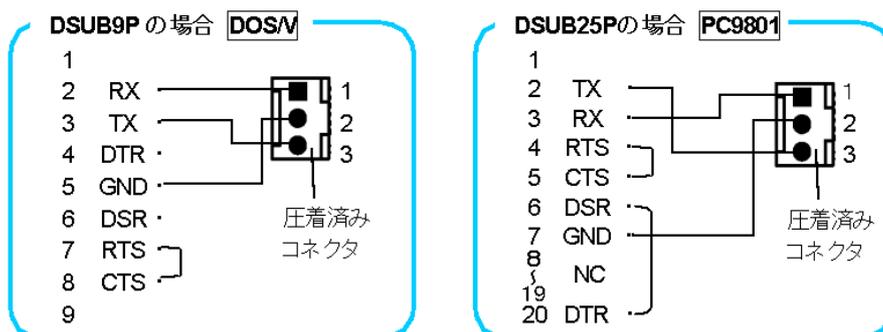
ハード接続

用意した RS232C ケーブル、電源ケーブルで次の通り接続します。

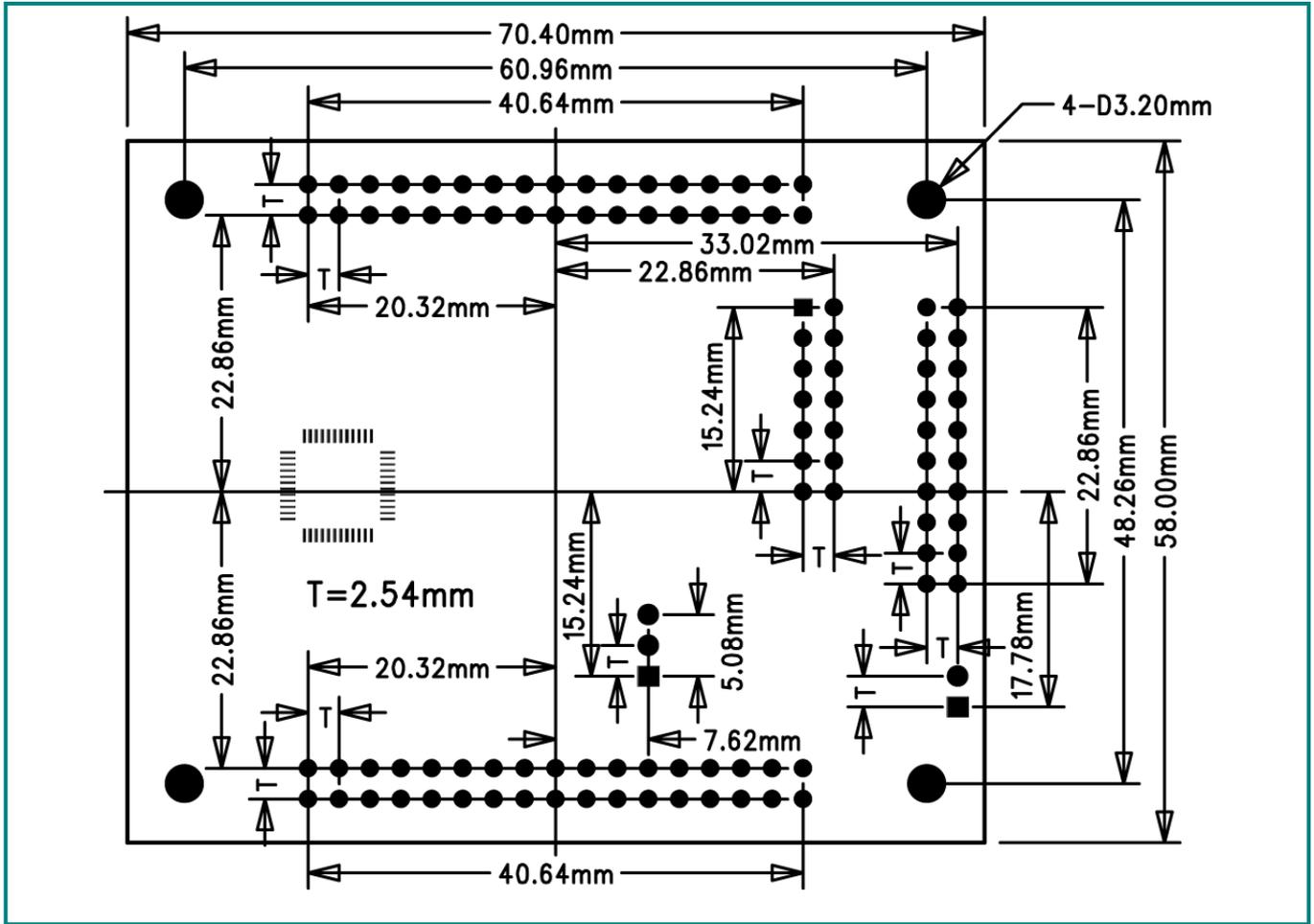


※付属の RS232C ケーブルを使って、結線図に応じたケーブルをご用意して下さい。 ※別売オプション品 専用 RS232C ケーブル(3P-Dsub9P-JAE)もございます

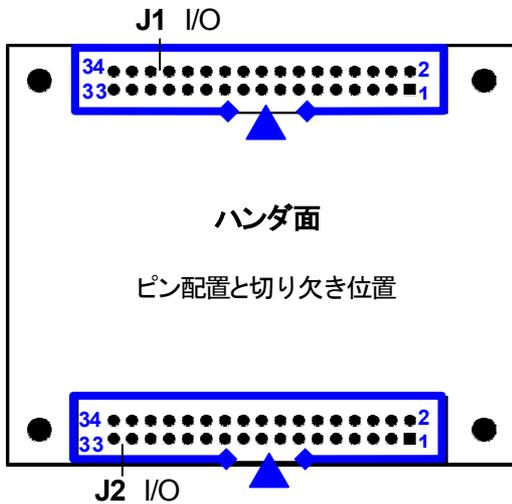
<結線図>



【寸法図】



【ハンダ面 付属コネクタ実装例】



※旧仕様の Base Board に合わせる場合は、付属コネクタを左図のように、コネクタの向きを合わせて、ハンダ面に実装して下さい。



注意

ハンダ面にコネクタを実装すると、コネクタ自体に付いている 1 番ピンの印と、基板上のピン番号が異なりますので、ご注意ください。

Base Board シリーズオプションボードは、「付属コネクタ実装例」に合わせて製作されております。オプションボードと併用して本製品をご利用の場合はコネクタの実装面にご注意下さい。

注意事項

- ・弊社のマイコンボードの仕様は全て使用しているマイコンの仕様に合わせております。マイコンの仕様に関しましては製造元にお問い合わせ下さい。弊社の製品は、予告無しに仕様および価格を変更する場合がありますので、御了承下さい。
- ・本ボードのご使用にあたっては、十分に評価の上ご使用下さい。
- ・未実装の部品に関してはサポート対象外です。お客様の責任においてご使用下さい。

パーソナルコンピュータをPCと称します。Windows95, NT, 98, Me, 2000, XP, Vista, 7 は Microsoft 社の製品です。ハイパーターミナルは Hilgraeve, Inc. 社の登録商標です。
R8CBB32S8CLA3A 取扱説明書

© 2011-2015 北斗電子 Printed in Japan 2011 年 6 月 2 日初版 REV.1.1.0.0(150313) 株式会社 **北斗電子**
 E-mail: support@hokutodenshi.co.jp (サポート用)、order@hokutodenshi.co.jp (ご注文用) URL: http://www.hokutodenshi.co.jp
 TEL 011-640-8800 FAX 011-640-8801 〒060-0042 札幌市中央区大通西 16 丁目3番地 7